

ツアー番号
LKYNYYJCNX

リラックス休暇（15日間）

15日間・14泊　ドライバーガイド付きプライベートツアー

AI生成画像・実際の写真ではありません

このツアーについて

この15日間のツアーは、プライベートの運転手付き車両でスリランカ全土を走破します。西海岸のネゴンボから、文化三角地帯の古代王国を経由して、丘陵地帯へ、そして南のサファリパークとビーチを通り、コロンボへ戻ります。アヌラーダプラ、ポロンナルワ、シギリヤ、ダンブッラ、丘陵町のキャンディとヌワラエリヤ、ホートンプレーンズとエッラ、ミンネリヤとヤラでのサファリ、そしてウナワトゥナでのビーチタイムと日帰りのガッレ訪問が含まれます。

旅行者は島の多様な側面を体験します。廃墟の都市と岩の砦、茶畑と高地の景観、2つの別々のサファリでの野生動物観察、マングローブを通るリバーボートトリップ、そして南海岸での数日間のくつろぎ時間です。ペースは観光日と、ウナワトゥナに組み込まれた休息日を混ぜています。

ツアーはプライベート車両と英語を話す運転手ガイドで終始実行されます。ガイドが運転とスポットを結ぶロジスティクスを担当するため、見どころに焦点を当てることができます。



日程詳細

1日目　空港 → ネゴンボ

ツアーは西海岸のネゴンボから始まります。ビーチと古くからの漁業で知られる町です。



ネゴンボ・ビーチ

ネゴンボの砂浜でゆったり過ごし、何世紀も続く漁業の様子を見学しましょう。

AI生成画像・実際の写真ではありません

マリンスポーツとダイビング

マリンスポーツを楽しんだり、沖合のサンゴ礁や海洋生物の中をダイビングしたりできます。50年前に沈んだ難破船は、今では多くの魚種の生息地となっています。

2日目 ネゴンボ → パンドゥワスヌワラ → アヌラーダプラ

内陸部へ移動し、あまり知られていない旧首都を訪れた後、1000年以上にわたりスリランカの古都であったアヌラーダプラへ向かいます。



パンドゥワスヌワラ

12世紀の首都だったこの地の遺跡を探索します。仏塔、仏像堂、集会場、城塞などが残っています。城塞の壁の外には、復元された旧仏歯寺が立ち、王宮の遺跡には数々の伝説が伝わっています。

L Manju · CC BY-SA 4.0



アヌラーダプラ

西暦10世紀までスリランカの首都であった広大な遺跡都市を歩きます。仏塔や僧院建築、池などが敷地内に点在しています。主な見どころは、かつて古代世界でも最も高い建造物のひとつだったジェータワナラーマ仏塔、聖なる菩提樹スリー・マハー・ボーディ、そしてアバヤギリ僧院の遺跡です。

Thisaru Tharuka · CC BY-SA 4.0

3日目 アヌラーダプラ → ダンブッラ

この日は、スリランカにおける仏教発祥の地、巨大な立像仏、そしてダンブッラの石窟寺院を訪れます。



ミヒンタレー

デーワーナンピヤティッサ王が僧マヒンダと出会い、仏教がこの島に伝わった地を訪れます。山麓に残る僧院の遺跡、マヒンダが住んだ洞窟、そしてアンバスタラ・ダーゴバをはじめとする歴史的な仏塔を見学します。

Dennis Sylvester Hurd · CC0



アウカナ仏像

一枚岩から彫り出された高さ40フィートの立像仏を見学します。背面にあるわずかな支えのみで自立しており、精巧に彫られた衣の襞と滑らかな体の造形が特徴です。周囲に部分的に崩れた建造物が残っており、かつては仏像堂の中に安置されていたことがうかがえます。

Carlos Delgado · CC BY-SA 4.0



ダンブッラの黄金寺院

紀元前1世紀にまで遡る石窟寺院に入ります。仏陀の生涯を描いた古代の壁画や、5つの主要な洞窟に点在する数百体の仏像・神像があり、その中には「神王の洞窟」や「大王の洞窟」も含まれます。洞窟群からわずかに離れた場所には、巨大な黄金の仏像が立っています。

Lankapic · CC BY 2.5

4日目 ダンブッラ → ポロンナルワ → ミンネリヤ → ダンブッラ

スリランカの第二の古都を訪れた後、午後はミンネリヤ国立公園でサファリを楽しみます。



ポロンナルワ

西暦10世紀から13世紀にかけてスリランカ第二の首都として栄えたこの都市の遺跡を歩きます。見どころは、ガル・ヴィハーラ、ワタダーゲ、蓮池、ランカティラカ寺院、そしてポロンナルワの黄金期を築いたとされるパラークラマバーフ王にまつわる像です。

Bernard Gagnon · CC BY-SA 3.0



ミンネリヤ国立公園サファリ

低木地帯や森林が広がる公園内をサファリで巡ります。象をはじめ、様々な哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類が生息しています。5月から10月にかけては、「グレート・エレファント・ギャザリング」と呼ばれる現象で、一度に150頭を超える象がこの公園に集結することもあります。

Stuart Pinkney · CC BY 2.0

5日目 ダンブッラ → シギリヤ → マータレー → キャンディ

キャンディへ向かう途中、シギリヤ・ロック要塞に登ります。キャンディでは伝統的な文化舞踊ショーで一日を終えます。



シギリヤ・ロック要塞

5世紀にカーシャパ王のために築かれたこの岩の要塞に登ります。巨大なライオンの爪に囲まれた階段を通って入場します。色あせることのない有名なフレスコ画や、段状の庭園、今も機能する水槽、そして山頂の旧宮殿へ続くトンネルを見学します。

Wrobell · CC BY-SA 3.0



キャンディの文化舞踊ショー

火の踊りや剣の踊り、太鼓の演奏に合わせて踊るキャンディアン・ダンスなど、スリランカの伝統芸能を1時間にわたって上演するショーを観賞します。

Arian Zwegers · CC BY 2.0

6日目 キャンディ

キャンディ周辺の丘に点在する木彫りの美しい寺院から、市内で最も神聖な場所まで、寺院巡りの一日です。



エンベッケ寺院

精緻な木彫りで知られるこの寺院を見学します。

Cherubino · CC BY-SA 3.0



ガダラデニヤ寺院

歴史あるこの寺院を巡り、絵画や彫刻を鑑賞します。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません



ランカティラカ寺院

当時としては建築的に非常に進んでいたこの寺院を訪れます。

BluesyPete · CC BY-SA 3.0



デガルドルワ石窟寺院

丹念に修復された壁画で覆われた洞窟内部を見学します。

A.Savin · FAL



仏歯寺

16世紀に仏陀の聖なる歯の遺物を納め守るために建てられた、ユネスコ世界遺産のこの寺院を訪れます。赤、クリーム、黒に彩られた通路やホールを歩き、彫刻の施された柱や黄金の像の前を通ります。

A.Savin · FAL

7日目 キャンディ → ヌワラエリヤ

植物園と茶園を経由して高原地帯へ向かい、かつて英国の避暑地だったヌワラエリヤに到着します。



ペラデニヤ王立植物園

19世紀初頭に設立されたこの植物園を歩きます。ランや香辛料、薬用植物など4000種を超える植物が生育しています。見どころは大砲玉の木、吊り橋、生垣の迷路、そして登ることができる大木などです。

Bernard Gagnon · CC BY-SA 3.0

茶工場と茶園

セイロンティーの製造過程を見学するため、茶工場と茶園を訪れます。茶の栽培は1824年に王立植物園で初めて行われ、1852年にジェームズ・テイラーが到着してキャンディ近郊のルーレコンデラ農園に定住したことで、商業栽培が始まりました。



ヌワラエリヤ

19世紀から20世紀初頭にかけて英国人の高級避暑地だったこの町を探索します。コテージや別荘、邸宅が並んでいます。赤レンガ造りの旧郵便局を訪れ、クイーンズ・ヴィクトリア公園やグレゴリー湖畔でくつろぎましょう。

Abdul malik77 · CC BY-SA 4.0

8日目 ヌワラエリヤ → ホートンプレーンズ → ヌワラエリヤ

高原の草原と雲霧林が広がるホートンプレーンズ国立公園への日帰り旅行です。



ホートンプレーンズ国立公園

オヒヤにあるこの公園を訪れ、高原の草原と雲霧林を楽しみます。「ワールズ・エンド」の断崖からの絶景やベイカーズ滝の水しぶきを見学し、固有種の動物を観察したり、この地で発見された考古学的遺物について学んだりできます。

Faslan at en.wikipedia · CC BY-SA 3.0

9日目 ヌワラエリヤ → エラ → ヤーラ

エラへ進み、その代表的な見どころを巡るウォーキングを楽しんだ後、南のヤーラへ向かいます。



リトル・アダムスピーク

茶畑や岩の多い地形を通り抜け、周囲の田園風景を見渡します。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません



ナインアーチ橋

この橋を渡り、建設にまつわる逸話を聞きます。

Deitel55 · CC BY-SA 3.0



デモダラ駅

独特なループ状の線路設計で知られるこの駅でハイキングを終えます。

A.Savin · FAL

10日目 ヤーラ → ウナワトゥナ

南海岸へ向かう途中、ヤーラ国立公園でサファリを楽しみます。



ヤーラ国立公園サファリ

南東海岸に位置する、スリランカで2番目に大きい国立公園でサファリに出かけます。ヒョウや水牛、ナマケグマ、象の群れをはじめ、数多くの哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、魚類、無脊椎動物を見られる可能性があります。

Ranmith Welikala · CC BY-SA 4.0

11日目 ウナワトゥナ

スリランカでも人気のビーチで過ごす自由日です。



ウナワトゥナ・ビーチ

日中は太陽と柔らかな砂、海風を感じながらビーチで過ごし、夕暮れには海を眺めて過ごします。ウミガメの産卵を観察したり、ジェットスキーやウインドサーフィンなどのマリンスポーツを楽しんだりできます。

Bernard Gagnon · CC BY-SA 3.0

12日目 ウナワトゥナ

かつてポルトガルとオランダの拠点だった沿岸の町、ゴールへの日帰り旅行です。



ゴール要塞

アジアでも最も保存状態の良い要塞の一つを訪れます。海洋博物館、ゴール国立博物館、灯台などがあります。今もオランダ語の名前が残る石畳の通りを歩き、この街の植民地時代の歴史を感じましょう。

Rovin Shanila · CC BY-SA 4.0

13日目 ウナワトゥナ

ウナワトゥナのビーチでくつろぐ、さらに自由な一日です。



ウナワトゥナ・ビーチ

日中は太陽と柔らかな砂、海風を感じながらビーチで過ごし、夕暮れには海を眺めて過ごします。ウミガメの産卵を観察したり、ジェットスキーやウインドサーフィンなどのマリンスポーツを楽しんだりできます。

Bernard Gagnon · CC BY-SA 3.0

14日目 ウナワトゥナ → バラピティヤ → コロンボ

マドゥ川での船旅を経てコロンボへ戻り、首都での観光の夕べを迎えます。



マドゥ川ボートライド

マングローブの水路を船で進み、日光浴するワニやウォーターモニターを観察し、シナモンを収穫する小さな島を訪れ、水鳥を眺めたり、フィッシュマッサージを体験したりします。

SUPindia · CC BY-SA 4.0



コロンボ市内観光

オールド・ライトハウス、旧国会議事堂、ゴール・フェイス・ホテル、ゴール・フェイス・グリーン、ガンガラーマ寺院、国立博物館など、首都の歴史的な見どころを巡ります。独立記念広場周辺のショップやブティックを見て回る時間もあります。

Gihanud2001 · CC0

15日目 コロンボ → 空港

朝食後、チェックアウトし、空港へ送迎されて出発します。

含まれるもの

含む

- Transport in a Private Vehicle, Fuel, Parking & Highway tolls.
- Service of English-Speaking Chauffeur Guide.
- All prevailing taxes and service charges.

含まない

- Hotel Accommodation and Meals.
- Entrance fees to the respective sites.
- Chauffeur Guide's Accommodation.
- Expenses of personal nature.
- Visa and Related Expenses.
- Tips & Portages.